

■ 上映作品の紹介

『できる - セ・ポシブル』

甚大な被害をもたらした2011年3月11日の東日本大震災。これまでのライフスタイルを見直し、よりエコロジカルで持続可能な暮らし方に移行した日本人は少なくない。これらの変化に熱視線を注ぎ、日本中を旅した30代の若いフランス人カップルがいる。日本とエコロジーが大好きなマチルダとジョナサンだ。将来、持続可能な生活をするを心に決めている彼らは、エコロジカルな暮らしの実践者たちに会うため、8ヶ月もの間、ボランティアしながら日本を縦断することを決意する。

3500kmのヒッチハイクを含む5000kmで訪れた場所の数は15ヶ所。訪問先は、屋久島で自然と調和したライフスタイルを実践しているエコビレッジ・アペルイ、神奈川で地域通貨や自然エネルギーに取り組むトランジション藤野、東京のど真ん中でパーマカルチャーに挑戦している東京アーバンパーマカルチャー、徳島県上勝町でごみのない社会への転換に取り組むゼロ・ウェイストアカデミーなど。2人は、各地を巡り、持続可能な未来のためのヒントを発見していく。合言葉は「できる」。フランス語だと「セ・ポシブル」。さあ、マチルダとジョナサンと旅に出よう。

取材先：

エコビレッジ Aperuy、東京アーバンパーマカルチャー、神山メイカースペース、三角エコビレッジ サイハテ、アースデイ東京、森の学校楠学園、トランジションタウン浜松、トランジション藤野、アズワンネットワーク、ゼロ・ウェイストアカデミー、菊川西中学校、原っぱカフェ

マチルダ・ジュリアン&ジョナサン・カレン監督作品
出演者：三宅洋平（音楽家・政治活動家・社会活動家）
テンダー（ヒッピー）
ソーヤー海（共生革命家）
坂野 晶（ゼロ・ウェイストアカデミー）ほか
配給：ユナイテッドピープル
99分/2019年/フランス

(ユナイテッドピープル 映画紹介資料より)

■ 県大 SDGs シネマ について

滋賀県立大学では持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた活動を行っています。SDGsに取り組もうとするときに、何から手をつけるべきでしょうか？私たちは、まず現在の社会にある課題を知り、多様な視座からその課題を捉えることが大切だと考えました。そこで様々な社会課題に触れ、周りの人たちと感想や意見を共有する機会をつくるため、1-2カ月に一度、県大キャンパス内で映画の上映会を開催することにしました。上映後には参加者同士で映画の感想や意見交換をする時間も取りたいと思います。皆さんがこの上映会で社会課題に対して新たな問題意識を発見し、次の一歩を踏み出すきっかけになれば幸いです。

■ 上映場所のご案内

湖風会館 談話室(A7棟内)

🚌 バスをご利用の方

(行き) 南彦根駅西口 17:50発 → 県立大学 18:07着

(帰り) 県立大学 20:40発 → 南彦根駅西口 20:57着

